

# 平成 15 年度日本臨床化学会活動報告

平成 15 年 9 月 27 日

## A. 第 1 回日本臨床化学会理事会

開催日時：平成 15 年 6 月 14 日（土）14：00-17：00

開催場所：千里 LC ビル、2001 号室

議事

### 1. 常置委員会報告

1) 編集委員会：学会誌の編集制作費の削減の件と ICCC 記録集作成のため、原稿依頼を行う。プロジェクトの進行状況と下記の委員会報告が臨床化学 Vol.32 No.1 (5 月末発行) に掲載された。

- ・ヒト血清中酵素活性測定の常用基準法（酵素）
- ・血液凝固検査基準化の試行（クオリティマネジメント）

### 2) 支部報告

### 2. 第 22 回夏期セミナー

永峰夏期セミナー実行委員長より、順調に開催への準備がすすめられ、参加申込が 400 件を超えた。

### 3. 第 43 回年会

猪川年会長より準備状況の説明が行われ、演題締切が 6 月 16 日であるが、1 ヶ月延長しホームページにその案内が掲載した。年会の日程表がしめされ、常置委員会の開催予定日時が決まった。年会要旨集は日本臨床検査医学会と本学会の両要旨とも掲載される。表紙のみ学会ごとにかえる。

### 4. 認定臨床化学者

現在、12 件の応募があり、新評議員 17 名にも申請依頼することが、確認された。夏期セミナー時の教育委員会（7 月 10 日）にて認定臨床化学者の審査を行う。

### 5. 学会賞

現在、学術賞 1 件、奨励賞 1 件、技術賞 1 件の応募がある旨報告され、夏期セミナー時の学会賞選考委員会（7/11 日）にて審査を行う。

学術賞 松下 誠（埼玉県立大学・短期大学部衛生技術学科）  
血清アルカリ性ホスファターゼ活性と血液型との関係

奨励賞 和田 結（九州大学医学部附属病院）  
血液凝固検査における生理的変動幅の推定

技術賞 シスメックス(株)  
術中癌転移診断システム

### 6. 賛助会員懇話会

賛助会員世話人の三浦氏より昨年同様、9 月に賛助会員へアンケートを送付して、年会時の賛助会員懇話会の折、話し合う。

### 7. 第 19 期日本学術会議会員の候補者の資格の認定

日本学術会議より下記候補者が資格を有する者であると認定された旨の報告が行われた。

生化学関連研究連絡委員会 上田 國寛（京都大学化学研究所）

化学関連研究連絡委員会 後藤 順一（東北大学医学部附属病院）

### 8. JCCLS（日本臨床検査標準協議会）評議員の選考

濱崎直孝会長、大久保滋夫（東京大学医学部附属病院検査部）、星野 忠（日本大学医学部臨床検査医学）の 3 名に委員の期間を 4 年として担当を依頼する。

### 9. 平成 14 年度決算

戸谷会計理事から平成 14 年度の収支決算書の説明がなされ、了承した。

### 10. 平成 15 年度予算

戸谷会計理事より説明があった。なお、第 18 回国際臨床化学会議からの寄付金の名目についてはまだ審議中である。

11. 後援依頼  
下記の後援依頼について、承認した。
  - ・第 54 回日本電気泳動学会シンポジウム：平成 15 年 7 月 11 日 千里ライフサイエンスセンタービル（大阪・豊中）
  - ・International Symposium on Bioluminescence and Chemiluminescence 2004 in Yokohama : 平成 16 年 8 月 2 日～6 日 パシフィコ横浜
12. 事務局移転  
現在、（財）日本学会事務センター大阪事務所に事務局を委託しているが、（財）日本学会事務センターの東京本部に平成 16 年 4 月より、事務局を移転する。
13. 会則の一部改定：理事の選出、会議旅費の扱いなどについての改定を準備する。
14. 次回理事会：平成 15 年 10 月 28 日（火）、広島国際会議場

## B. 第 1 回学術連絡委員会

開催日時：平成 15 年 7 月 10 日（木）10：00-11：00

開催場所：徳島グランドホテル 2F 福寿

議事

1. プロジェクト
  - 1) 各専門委員会から活動概況の報告があった。
  - 2) 新規プロジェクト 2 件承認
    - ・血清アルブミン測定の常用基準法の確立
    - ・臨床検査機器マニュアルの作成
  - 3) 勧告法案の提出・決定手順の改定  
終了手順を追加する。継続する場合は再申請する。
  - 4) 整理  
進行中のプロジェクトは以下の原則により整理する。
    - ・プロジェクトの期間を過ぎたものについては、本年 10 末の理事会までに、完了終了、途中終了、継続再申請のいずれかにする。なお、完了終了の場合は、正式な報告書を提出する。
    - ・プロジェクトがまだ期間内のものは、そのまま継続する。
  - 5) 勧告法の英文版  
プロジェクトの完了に伴う検討内容の成果は、英文化する。論文は委員の当該専門誌などへの投稿などがある。
2. 国際会議報告  
国際会議に出席した場合は、その報告書を提出していただく。
3. 次回の会議  
10 月 28 日（土）午前、広島国際会議場

## C. 第 1 回国際交流委員会

開催日時：平成 15 年 7 月 10 日（木）11：00-12：00

開催場所：徳島グランドホテル 2F 福寿

議事

1. 委員の追加  
安東由喜雄（熊本大）、千葉仁志（北大）の 2 名
2. IFCC
  - ・EB の 2003-2005 委員が決まった。
  - ・その他の委員：市原清志（血漿蛋白専門委員会）、桑克彦（WG-SE）
3. APFCB
  - ・日本側委員：伊藤(Vice President)、岡部(National Representative)、猪川(Education Committee)、丸山(Scientific Committee)、市原(Quality Assurance WG)
  - ・10<sup>th</sup>APCCB：2004,9/19-23、パース、オーストラリア
4. その他

- ・年会時の外国からの参加者を増やす一方法として、年会発表の抄録に英文での **Summary** などを入れる。
- ・16thIFCC-FESCC : 2005,5/8-12、グラスゴー、イギリス
- ・CRM470 : プロテオミックス研究用の試料に用いられるようになり、在庫が減ってきた。更新の準備が必要になった。

## D. 第1回教育委員会

開催日時：平成15年7月11日（金）8：00-9：00

開催場所：徳島グランドホテル 2F 福寿

議事

1. 認定臨床化学者  
申請者 14 件（技師 10、医師 4）を承認した。
2. 学会賞候補者
  - ・学術賞：松下 誠（埼玉県立大、短大衛生技術学科）
  - ・奨励賞：和田 結（九州大病院検査部）、小谷和彦（鳥取大医学部検査医学）、石本 学（鳥取大病院検査部）
  - ・技術賞：今回は該当なし、ノミネートされたものについては、客観的な評価が出た時点で再提出していただく。
  - ・学会賞のノミネートについては、各支部長宛に用紙を **e-mail** で送付して、提出もらうように準備する。
3. 活性化：教育委員会での教育活動の活性化について検討する。
  - ・対象は検査にみに限らない。
  - ・企業を含めて、臨床化学の教育に関する情報として何を求めているかをサーチする。
  - ・教育材料を準備し、雑誌などに掲載する。**Technical Brief**などを準備する、
  - ・現場で有用ものと学術的な内容について展開する。必要に応じて研修・講習会などの開催を企画する。